

かしわら

市議会だより

No.185

平成28年5月
柏原市議会
広報委員会

質問者席

- 3月定例会概要 2～3
- 市政運営方針に対する質問..... 4～5
- 議案に対する質疑 6～7
- 議会で決まったこと 8

編集・発行 柏原市議会

〒582-8555 大阪府柏原市安堂町1番55号 TEL 972-1501 (代表) / FAX 971-8932

Eメール
gikai@city.kashiwara.osaka.jp

会 概 要

31日間の会期で開かれました。

3件、報告案件3件、意見書及び陳情が提出され慎重に審議しました。

本会議最終日、平成28年度一般会計予算に対して議員から組み替え案（動議）※、修正案（動議）※が提出され、採決を行いました。

平成28年度一般会計予算の組み替え案（動議）

今、市民の暮らしは深刻であり、自治体に求められるのは、国の悪政の防波堤になり、市民の命と暮らしを応援することである。総額約256億円の予算を市民の立場で無駄を削り、市民のために必要な予算に組み替えることを提案する。

動議!!

賛成 2人

反対 14人

平成28年度一般会計予算の修正案（動議）

当初予算に計上された「いきいき健康づくり推進事業」39,264千円について、参加する一部の市民のみにポイントが付与し、そのポイント取得によって物品がもらえるという制度で、公平性に欠けるとともに、市民の間でつちかってきた健全な健康意識をくつがえすものである。3年間で2,100人の参加者を対象に総額2億円以上、一人あたり約10万円の公金支出を要する当該事業は認められないものである。

修正案に対する賛成意見 修正案に対する反対意見

- 「費用対効果は非常に高い」とのことであるが、根拠となっている数値は本当に信ぴょう性があるのか。この事業を展開している事業者のデータと厚生労働省が発表しているデータには相当な開きがあり、「医療費抑制に効果が見込める」としているのは根拠に乏しいものと言わざるを得ない。
- この事業者にデータを送り、科学的な評価分析をしてもらう、とのことであるが、先行実施している市によると、「これまでの市での分析結果と変わらない」とのことである。厳しい財政状況の中、十分な検証もなく、3年間で2億円の公費を使い、事業を推し進めることなど全く必要ない。

- 「2025年問題」に対する、健康づくり施策の本命となる重要な事業であると考えられる。
- この事業は健康長寿社会の実現に向けた国の実証事業に参画した6自治体の運用実績がある。
- 事業参加者にとどまらず、市民全体の医療費抑制効果が見込め、各保険事業の見直しもできる。
- ポイント付与により、健康無関心層の事業参加を促すことができ、自然に「歩きたくなる」まちづくりを実現できる事業である。
- 科学的根拠に基づく個別運動プログラム、健康データをを用いた評価分析システム等、この事業はすべて必要不可欠である。



採決の結果 可否同数



賛成 8人

反対 8人

議長裁決の結果、修正案が可決され、「いきいき健康づくり推進事業」を除く、原案（平成28年度一般会計予算）は可決されました。

3 月 議

平成28年第1回定例会は2月23日から3月24日までの
本定例会には、28年度予算を含む議案34件、議員提出議案

特に注目された事業ピックアップ

全国から集まる
ふるさと納税
4億5,597万円



Q. 昨年と比較して15倍増となった。
今後の取組について。

A. 全国的に注目され、申し込みが急
増している。今後も市の内外に
PRし、市内企業の協力をいただ
き進めます。

防犯カメラ設置
244万円



Q. どこに、何台設置するのか。

A. 主要道路に、8台設置予定。
犯罪抑止効果と防犯意識の
向上に努めます。

新規出店促進支援
180万円



Q. どのような業種が対象で、支援内容は。

A. にぎわいづくりにつながる小売業、
飲食業が対象となる。空き店舗の
提供と、経営サポートなどの支援
を行います。(国の交付金獲得)

こどもの医療費助成
1億9,234万円



Q. どのような拡充内容となるのか。

A. これまで、通院医療費助成を受け
られる年齢が小学6年まででは
したが、中学3年まで拡充されました。

柏原東小学校・
柏原小学校の耐震工事
3億3,315万円



Q. 完成の日程は。

A. 柏原東小学校 平成28年11月、
柏原小学校 平成29年1月、
完成予定です。

サンヒル柏原
プール設備調査
50万円



Q. どのような調査となるのか。

A. プール施設等の老朽化に伴い、
安全、衛生確保するための改修
費用などを調査する。このため
H28年度のプールは休止です。

※予算組み替え案（動議）とは、提出された予算案を作り直して再提出する提案です。また予算修正案（動議）とは、
予算の個別の項目を対象にして減額（削除）を求める提案です。

グラウンド開設に 向けて動き始める

新風かしわら

【要望】施設の売却となれば、今まで市民の方が利用されてきた経緯も踏まえ、今後も快適に使えるよう、事前に市民への十分な説明を要望する。

また、今年度は公共資産台帳も整備されていく予定である。同じような役割の資産を管理運営していただき、市民サービスの提供を要望する。

【問】 恩智川多目的遊水地の上面利用について、どのような使い方ができるのか伺う。

【市長】 市民スポーツ広場の整備に向け、29年度末に工事完了予定。軟式野球、ソフトボール、少年硬式野球、サッカー、グラウンドゴルフ、フットサルを対象とする。

【問】 工事に関する財源はどうなっているのか伺う。

【市長】 公共施設の統廃合の観点から、同類の施設の売却も視野に入れ、財源確保に努めていく。



恩智川多目的遊水地市民スポーツ広場予定地

「健康長寿」の まちづくりを！

公明党

【要望】 まさに、柏原の将来を見据えた事業として、健康プロジェクトをきっかけに、多くの市民が健康なライフスタイル習慣が身につき、地域全体の医療費・介護費等の抑制にもつながるだけでなく、「健康づくりと地域の活性化の循環モデル」が期待されるようなまちづくりを強く要望する。

【問】 「いきいき健康づくり推進事業」の内容と取り組みについて伺う。

【市長】 ウォーキングや運動教室で体を動かし、歩数計を活用して、運動量や体の状態の改善状況を把握していただく。また食による健康づくりとして、市内大学研究機関と連携しながら、かしわら版ヘルシーメニューの開発に取り組み。その上で歩いて食べて楽しんで健康ポイントを獲得し、健康なまち、かしわらを目指す。



夢と期待を抱ける まちづくりを

新政会

【市長】 市の自然や歴史・文化を守りつつ、中長期的なビジョンとして、近鉄堅下駅とJR柏原駅の間に御堂筋、また国分駅周辺を梅田と例え、2拠点で柏原の玄関口、と希望を持いたい。その上で、周辺整備が必要であると考える。

【問】 公共施設の総点検を行い、幼保一元化ガイドラインや小・中学校の適正規模・配置等を踏まえ、市庁舎を含めた公共施設等の再配置案作成のビジョンについて伺う。

【要望】 夢のあるまちづくりが実現できるよう、取り組むことを要望する。

【市長】 市内全域にわたる公共施設を総点検する。40年スパンの具体的な数値を出し、様々な対策等を含めて来年3月頃に報告書を提出する。新たな公共施設の在り方を市民と共に考えていく。

【問】 市長の描く柏原市の将来イメージを伺う。



御堂筋と例えられたJR柏原 - 近鉄堅下の様子

市政運営方針に対する代表質問から

責任を取り 辞職すべきだ

日本共産党

問 昨年9月に報道された女性問題に対し、どのような信念を持ち、責任を取るつもりか伺う。

市長 私的な事とはいえ深くお詫びを申し上げ、市政発展のため、責任を果たしてまいる。

要望 市長は政治家である。柏原市の行政のトッ

プである。深くお詫びして済ませる問題ではない。昨年9月に、「その責任を強く問う」として、柏原市議会全会一致の問責決議を受け止めるべきである。京都の国会議員は、



急げ！子どもの 貧困対策

市政クラブ

問 子どもの学習支援事業の内容と貧困連鎖の防止対策について伺う。

市長 生活困窮家庭における貧困の連鎖を防止するため「居場所づくり」として、平成28年度から実施し、中学2・3年生を対象に、関西福祉科学

大学と連携して、教員OBの方と大学生の協力を得て、学力の向上と家庭環境を把握し、保護者からも相談を受け実施してまいる。
問 完全な貧困連鎖防止対策には、多くの課題が

あり、「早期発見・早期支援」が肝心で、子どもが生まれる前から貧困につながるリスクを見つけて出し実態調査から対策すべきである。

市長 子どもの情報を集め、個人情報を守りながら進める。

要望 子どもの食の健康状態もしっかりと踏まえ、更なる対策を求める。



市民と対話し 政策を進めよ！

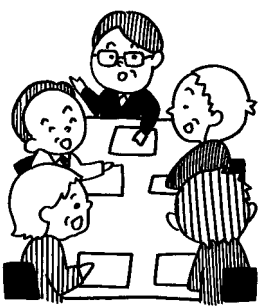
柏原かがやきの会

問 市長の公約である「5つの大阪ナンバーワン」を市民の皆さんと検証を行い、結果を公表する、との公約が守られていない。取組を伺う。

市長 「教育環境」「子育て環境」「安全、安心」「協働推進」「にぎわい」

が、それぞれの充実を目標にした喫緊の課題であり私の公約による取組目標である。持続可能な市政運営を目的に、事業の拡充や再構築、機構組織の改編に取り組んできた。既に集約の作業を進め、

進捗状況と成果を公表する予定である。
要望 昨年も2年目の節目として、同じ質問を行った。目標として認めるが、進捗と成果は認められない。市長のマニフェストにはスピーディな実行力で透明性のある行政をモットーにとある。市民との対話を軸に市内全域で市民と懇談会を行っていただきたい。



妊娠は

育児のはじまり

公明党

問 母子健康手帳交付時からの産前支援についていただいた。本来は全ての妊婦さんが母子健康手

答 市役所と国分出張所で提出された妊娠届出書をひと月ごとに保健センターの保健師が確認し、子育てに不安のある方を電話や訪問で支援している。市役所と国分出張所では窓口職員が、保健センターでは保健師が面接により交付を行っている。そのため、市内産婦人科医院に保健センターでの手続きを勧めるよう依頼している。



要望 昨年第3回定例会で、産前からの切れ目のない支援を問題提起した

働き方改革

政新会

問 歳出抑制とワークライフバランスの推進の観点から残業を減らすことは重要である。他の部署から応援で人が入ってもらうようなワークシェアも検討すべきである。

答 立て業務改善など所属単位で時間外勤務の削減に取り組んでいる。今後、業務の見直しにより職員への負担の軽減を図るなど、全職場で時間外勤務の解消が実現するよう数値目標の設定などについても検討してまいりたい。

答 平成27年度において「時間外勤務削減行動実施要領」に基づき、各課で時間外勤務削減計画を



健康ポイントとは

誰のため?

市政クラブ

問 健康ポイント事業のは参加できない。業務委託料について伺う。今まで既に介護予防サ

答 これまでに健康ウォークを始めとする様々な行事を実施し、多くの市民参加をいただいた。一方、参加されていない方も多いため、インセンティブ制度（意欲の向上や目的達成のための刺激策）を導入して多くの参加を促す。七百人を対象に歩数計を渡して、ウォーキングにより健康維持を行う。

要望 今の柏原市の財政でインセンティブ制度でポイントを付けることが必要か。ウォーキングが対象であるが歩けない人



視察先、埼玉県三郷市では自費でカードを作り、健康ウォークに参加

議案に対する代表質疑から

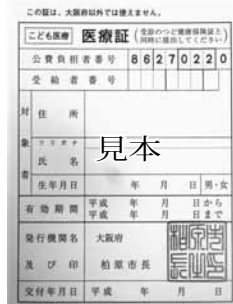
やっと

実現しました

日本共産党

- 問** こども医療費助成の拡充の内容について伺う。大阪府が助成を拡充する
- 答** 通院に係る医療費も助成対象を中学3年まで拡大する。それに伴い、医療証を交付する現物給付にする。
- 問** 大阪府の助成内容について伺う。
- 答** 医療費の助成対象は小学校就学前までで、所得制限がある。
- 要望** 長年医療費助成制度の拡充を求めてきたが、中学3年まで拡充され大変うれしく思う。

市民の方からも喜びの声が聞かれる。しかし、住む自治体により助成制度が違うのは不公平だ。



窓口で提示する医療証

高齢者の皆さんへの

恩返し

新風かしわら

- 問** 介護予防についての取組を伺う。
- 答** 体操教室や健康講座を実施し、正しい健康知識の普及啓発も実施している。団塊の世代の高齢化も進み、今後も、より充実した介護予防事業となるように努める。
- 問** 足腰などが弱くなってきた方に対しての対策について伺う。
- 答** 地域包括支援センターへのリハビリテーション専門職の配置や、生活に沿った身体機能の向上など個別アドバイスをを行い、住み慣れた自宅で自分らしい暮らしを続けられることを期待して
- 要望** 平成29年度から始まる総合事業に向けて、要支援1・2の方を含めて、利用者には必要なサービスを負担が増えない形で、そして介護事業所にはサービス水準を維持できるように配慮した制度の構築を市にお願いする。



市内介護事業所での風景

子育て世代に選ばれるまちづくりを

柏原かがやきの会

- 問** こども医療費助成の今後の考え方について伺う。
- 答** 子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、更なる子育て支援施策の充実を目的に、通院に係る医療費についても助成対象を小学6年までから中学3年まで拡大するものである。今後この事業を含むすべての子育て支援施策については重要施策の一つとして、限られた財源の中ではあるが、より一層の充実を図りたい。
- 要望** 大阪府内の首長選挙がある度に各市町村がこぞって拡充していく。大阪市は新年度から18歳
- までの助成拡充を打ち出した。それを近隣市が追随する形となる。府内で助成のバラツキがあることに違和感を覚える。本来は広域で支えるべきであると考ええる。それまでは市単費で継続していき、より安定した財政運営に努めるよう要望する。



第 1 回定例会で賛否が分かれた議案

議案 番号	議 案 名	採 決	柏原かがやきの会				公 明 党			日本共産党		市政クラブ		政新会		新風かしわら		個人	個人
			大坪 教孝	奥山 涉	乾 一 広也	中野 広子	新屋 広子	小谷 直哉	中村 保治	山本 真見	橋本 満夫	岸野 友美子	鶴田 将良	田中 秀昭	山下 亜縹子	富宅 正浩	山口 由華	山本 修広	濱浦 佳子
議第1号	平成28年度柏原市一般会計予算に対する組み替えを求める動議	否 決	議 長	×	×	×	×	×	×	○	○ _討	×	×	×	×	×	×	×	×
議第1号	平成28年度柏原市一般会計予算に対する修正動議	議長裁決		○	○ _討	○	×	×	×	○	○	○ _討	○	×	×	×	×	×	○
議第1号	平成28年度柏原市一般会計予算の修正議決した部分を除く部分	可 決		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
議第10号	副市長の選任につき同意を求めることについて	同 意		×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
議第11号	副市長の選任につき同意を求めることについて	同 意		×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
・議長は全ての議案に対し賛否を表明しません。(可否同数の場合は除く) ・賛成の場合は「○」、と表記しています。 ・会派に属さない議員は「個人」と表記しています。 ・「討」は討論をおこなった議員。 ※定例会での議案審議、委員会審査、討論についての詳細な内容 につきましては、YouTubeにて動画でご覧いただけます。																			



全会一致で可決・承認した議案

議 案 番 号	議 案 名	議 案 番 号	議 案 名
報第1号	柏原市市税条例の一部改正について	議第20号	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
報第2号	損害賠償の額の決定及び和解について	議第21号	一般職の職員の給料月額に関する条例の制定について
報第3号	平成27年度柏原市一般会計補正予算（第7号）	議第22号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
議第2号	平成28年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算	議第23号	職員の旅費に関する条例の一部改正について
議第3号	平成28年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）予算	議第24号	柏原市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について
議第4号	平成28年度柏原市介護保険事業特別会計予算	議第25号	柏原市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者に関する基準を定める条例の一部改正について
議第5号	平成28年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計予算	議第26号	柏原市国民健康保険条例の一部改正について
議第6号	平成28年度柏原市市立柏原病院事業会計予算	議第27号	平成27年度柏原市一般会計補正予算（第8号）
議第7号	平成28年度柏原市水道事業会計予算	議第28号	平成27年度柏原市一般会計補正予算（第9号）
議第8号	平成28年度柏原市下水道事業会計予算	議第29号	平成27年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）
議第9号	市道の線路認定及び廃止について	議第30号	平成27年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）補正予算（第1号）
議第12号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議第31号	平成27年度柏原市一般会計補正予算（第10号）
議第13号	執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について	議第32号	平成27年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）
議第14号	柏原市行政不服審査会条例の制定について	議第33号	平成28年度柏原市一般会計補正予算（第1号）
議第15号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	議第34号	平成27年度柏原市一般会計補正予算（第11号）
議第16号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	議提1号	議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について
議第17号	職員の厚生制度に関する条例の制定について	議提2号	柏原市議会会議規則の一部改正について
議第18号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	議提3号	柏原市議会事務局条例の一部改正について
議第19号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について		

意見書
・大阪府の乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書

意見書が提出され、全会一致で可決し、関係行政庁へ送付いたしました。

陳情等
・用地買収に関する要望
国分本町6丁目区長
国分本町7丁目1区長
国分本町7丁目2区長
議会運営委員会で協議を行い、議長預かりとする事に決定しました。

本会議での質問の回数制限がなくなりました。
「市民に開かれた、わかりやすい議会」を推進する観点から、12月定例会で、一問一答制に変更し、さらに今回の定例会から回数制限がなくなりました。これらにより、議員と市長（担当部長）との議論が、市民の皆様によりわかりやすくなります。
また、プロジェクター、スクリーンを用いることで、資料や写真を活用しながら、よりわかりやすい説明を行うことができるようになりました。
是非、一度傍聴におこしく下さい。



第 2 回 定例会 6月8日から6月30日まで(予定)						
日	月	火	水	木	金	土
6 / 5	6	7	8 本会議	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 本会議	21 本会議	22	23 総務文教 委員会	24 市民福祉 委員会	25
26	27 建設産業 委員会	28	29	30 本会議	7 / 1	2

※ 会議は午前 10 時から始まります。
※ 日程は、変更する場合があります。